

京都橋中学校

Vコース[国立大学進学中高一貫コース]

多様な入口、君だけの未来。

校外・夜の説明会 DIVER

※新型コロナウイルスの影響により、実施内容が変更となる可能性があります。詳しくは本校HPをご確認ください。



9/16(金) 19:00 ~ 20:30

アスニー山科

学校での説明会

● 10/ 1(土)10:00 ~ 11/12(土) 9:00 ~

● 10/16(日) 9:30 ~

● 11/5(土) 8:45 ~

● 9/17・10/8・11/19・12/3、10、17、24の土曜日10:00 ~

● 実力判定テスト・適性検査型判定テスト・学校説明会

ミニ学校説明会

10/7(金) 19:00 ~ 20:30

京都市呉竹文化センター

10/21(金) 19:00 ~ 20:30

けいはんなプラザ

京都橋中学校

〒612-8026 京都市伏見区桃山町伊賀 50
Tel:075-623-0066 Fax:075-623-0070

詳しくはWebで ▶

京都橋

検索

＼ SNS 等で学校情報や生徒たちの日常を発信中! /

Facebook



Instagram



Twitter



ブログ「橋の風」更新中!



▶ 本校への交通アクセス 京阪・JR・近鉄・地下鉄利用でとても便利!

保護者
対象

校外・夜の説明会

校外3会場にて
説明会を開催します。
最寄りの会場へお出かけください。

参加者には、学校案内・
募集要項・入試問題集・
データブック等
プレゼント!

全会場共通

時間 19:00～20:30

内容 ■説明会

あいさつ

教育方針・学校紹介[在校生の成長・学力伸長
卒業生の進路状況・入試要項・特別奨学生制度]

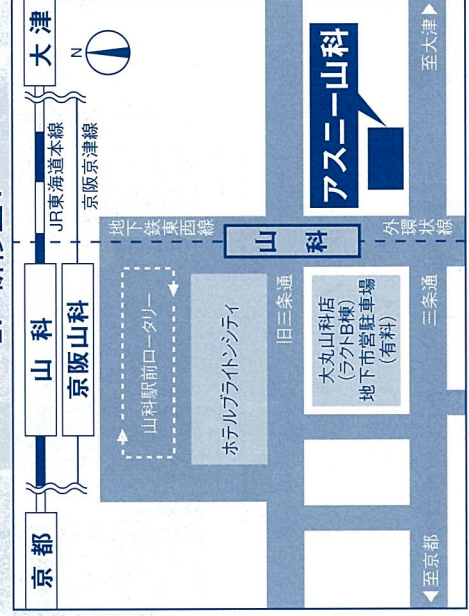
注目!!

- ・募集人員 60人⇒90人に!
- ・入試:適性検査型の入試(国語・算数)を実施!
- ・実力判定テストに加えて適性検査型判定テストも実施!
- ・PC・スマートフォン・タブレットから出願可能!
- ・英検・漢検取得者は優遇!

■個別相談(希望者)

会場

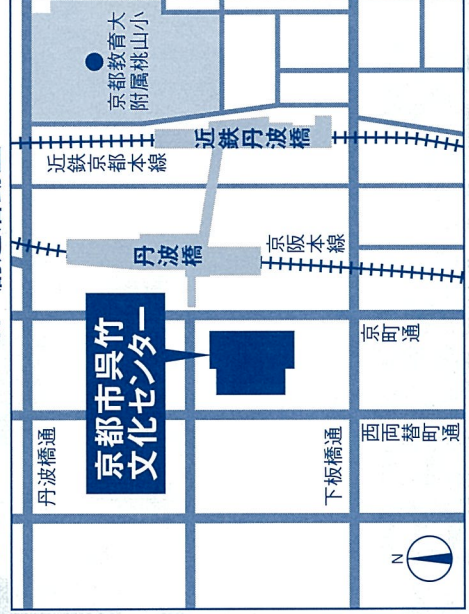
9/16(金) アスニー山科 2F・研修室1



〒607-8080 京都市山科区竹鼻竹ノ街道92番地 ラクト山科C棟2F
JR山科駅(徒歩3分) 地下鉄東西線山科駅17番出口すぐ

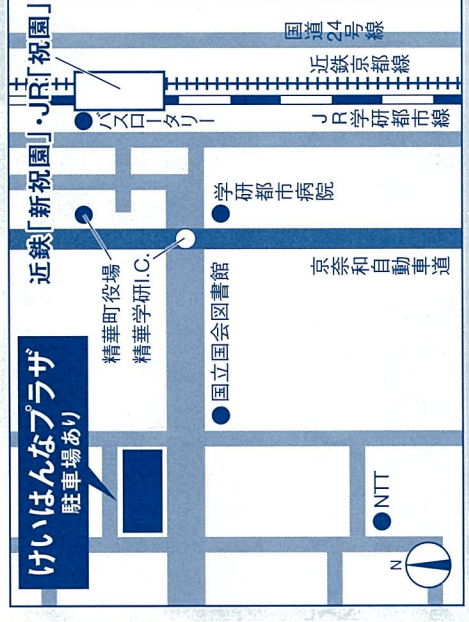
10/7(金)

京都市呉竹文化センター 1F・創造活動室



〒612-8085 京都市伏見区京町南七丁目35番地の1
京阪・近鉄(丹波橋駅)西口前(注)駐車場はありません

10/21(金) けいはんなプラザ 5F・ボルガ

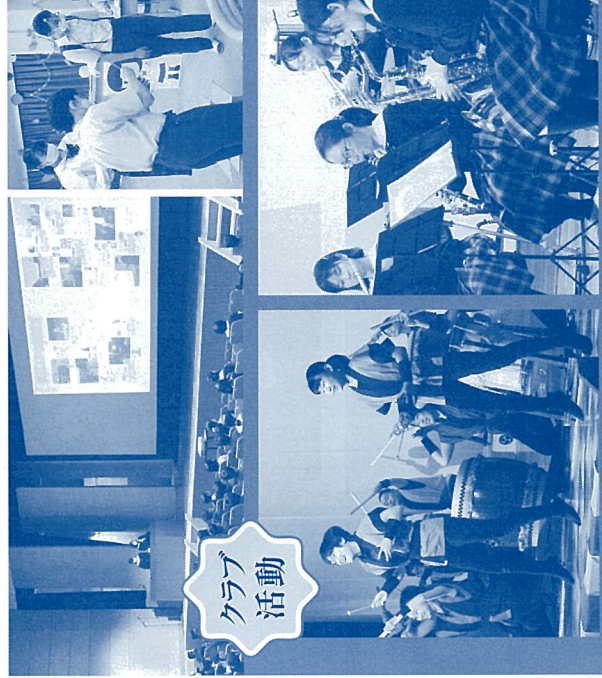


〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1-7
※無料駐車券差上げます。

高等学校の
進路実績
(2022大学入試)

京都橋での学力伸長に定評!

難関国立大学(京大・神大・名大・北大)8名
国立大学 合計61名合格!
過去最高 関関同立大へ178名合格!
早慶上理MARCHに10名合格!



体育系

- バスケットボール ● バドミントン ● テニス
- 男子サッカー ● 陸上競技 ● 卓球 ● 剣道

文化系

- 英語ディベート ● サイエンス
- ロボットプログラミング ● 吹奏楽 ● 太鼓
- 自然探究 ● 美術 ● 琴
- ハンドメーカーキング ● アニメーション
- 茶道 ● 書道 ● 演劇



日々の積み重ねの中で自然と成長できる学校です。
京都橋での毎日には、成長の機会が詰まっています。私は入学してから、授業でのペアワークや部活動など、人と協力する取り組みを通して、周囲の人と積極的に関わり合いをとりながら、おかげで学習習慣が身についたと感じています。一つひとつは小さいことかもしれませんが、卒業後の将来に向けて、着実に成長できている実感があります。京都橋は可能性を伸ばし、新しい自分に出会えるチャンスがある学校です!

Vコース高校2年 生徒会長

■お問合せ先



変化を楽しむ人であれ

京都橋中学校

612-8026 京都市伏見区桃山町伊賀50 Tel.075-623-0066 Fax.075-623-0070

本校への交通アクセス 京阪・JR・近鉄・地下鉄利用でとても便利!
詳しくは Web で 橋の風 随時更新中

桃山南口駅下車 西へ徒歩5分

JR 奈良線
桃山駅下車 東へ徒歩10分

近鉄京都線
桃山御陵駅下車 東へ徒歩15分

「変化を楽しむ人であれ」

私たちは、タグラインに、未来に向けて絶えず進化し続ける意思を込めました。
変化をおそれ、これからの時代を切り拓けません。
一人ひとりがよりよい未来を心に描き、みずから変化を楽しみ、人と社会と自然に対し働きかけて時代を切り拓いていきたい。
私たちの学園で育つ若者が、好奇心に満ち、臆せず、自らの変化を楽しみながら、新しい時代に挑んでいってほしい。
これが私たちの願いです。

